

2016年6月10日

## 耐震構造用 非金属製エキスパンションジョイントカバーが「地震応答波加振」試験で最上級の性能評価「A種」をクリア

建材の開発、製造、輸入、販売を行う(株)エービーシー商会(本社:東京都千代田区 社長:佐村 健)は、非金属製エキスパンションジョイントカバー「アーキウェイブ」の振動台実験を実施し、免震構造用の最上級の性能指標である「A種」を耐震構造用としてクリアしました。(同社は東北地方太平洋沖地震(2011年)発生直後から免震構造用エキスパンションジョイントカバーを中心に、多くの振動台試験を実施しています。)

「アーキウェイブ」は柔軟性と耐久性のあることで定評がある「サントプレーン」を素材とした製品であり、建物クリアランス内部で3次元方向に50%の可動が可能です。またA4等級[JIS A 1516]の60倍という高い気密性能を有しており、さらに軽量・柔らかな素材であるため、地震時の万一の脱落による二次災害のリスクも低減するのが特長です。



### <実施試験内容>

- 正弦波 X 方向加振
- 正弦波 Y 方向加振
- 正弦波 135 度方向加振
- 正弦波反時計方向加振
- 正弦波 Z 方向加振
- JMA KOBE(神戸海洋気象台)
- 新潟県中越地震(小千谷)
- 東北太平洋地震(日立)

試験ムービーは以下より確認できます。

<http://www.abc-t.co.jp/products/detail/9282.html>

<地震応答波> 「地震応答」とは地震によって建物などが振動する現象で「地震応答波」とはその波形のことをいう。

【出展】地震と免震—耐震の新しいパラダイム 大橋雄二著 浅倉書店

<振動台> 100cm/sec 以上の高速加振や地震動の再現加振ができ、上下動や回転成分などを含んだ加振ができるもの。

<A 種> 日本免震構造協会「免震エキスパンションジョイントガイドライン」における最上級の性能指標。大地震後にも機能を確保し、無補修で継続使用可能であることを振動台試験により確認しているもの。

【出展】日本免震構造協会(JSSI)「免震エキスパンションジョイントガイドライン」2-1 2-3 から趣旨引用

### <免震 Exp.J の性能指標の分類>

性能指標	中小地震 変位 50mm 程度	大地震 設計可動量	確認方法	使用箇所 (参考)
A 種	機能保全	機能保全	設計可動量まで損傷しないことを振動台試験により確認する。(振動台の可動量が小さい場合にはオフセットして試験することも可とする)	避難経路 人・車の通行の多い箇所
B 種	機能保全	損傷状態 1	設計可動量において軽微な損傷であること振動台試験により確認する。 または、 設定可動量まで損傷しないことを加振台試験により確認する。	人の通行のある箇所
C 種	損傷状態 1	損傷状態 2	図面により可動することを確認するのみ。	ほとんど人の通行がない箇所

このリリースは ABC オフィシャルサイト「ニュースリリース」に掲載しています。

【出展】日本免震構造協会(JSSI)「免震エキスパンションジョイントガイドライン」第 2 章表 2.1.2

株式会社エービーシー商会

報道関係のお問い合わせ先

お客様のお問い合わせ先

www.abc-t.co.jp

宣伝部 広報担当

アルウイトラ事業部

東京都千代田区永田町 2-12-14

TEL:03-3507-7120

TEL:03-3507-7194